

岡本 悦司教授の模擬授業

医療

小便と大便とどちらが生命にとって重要か(高校生のための医学入門)

講師: 岡本 悦司

高齢化で増加する疾患の予防対策がなぜ若い頃から必要なのか? それがなぜ国策として推進されているのか? を、小便と大便という日常的な、しかし汚い話なので関心を引きにくい生理現象を例に、わかりやすく説明する。

生物では、尿がどのように生成されるか、が教えられている。では尿が生成されなくなったらどうなるのか? 糖尿病はがんのような悪性疾患ではないが、放置すると尿が出なくなる、というメカニズムを生物の知識の応用として説明する。

現代社会では、人口高齢化と社会保障が教えられるが、尿が出なくなったら透析治療となり年間500万円もの費用がかかること、その費用は全国民で負担しなければならない、という医療保険の仕組みを社会保障の各論として説明し、若い頃からの疾患予防が個人のみならず国全体の社会保障制度に必要であるという背景を説明する。

■ 受講人数の目安: 40人(生物, 現代社会履修者が望ましい)

■ 所要時間の目安: 60分

■ 高校でご準備いただきたいもの: プロジェクター、スクリーン(PCは持参)

医療

性に関する正しい医学知識(高校生のための医学入門)

講師: 岡本 悦司

高校生は、性的にも成熟する年齢であるが、安全で幸福な性のためにも、性に関する正しい知識が必要である。望まない妊娠を防ぐための避妊の知識、人工妊娠中絶に関する法的規制(母体保護法)、性行為に伴う感染症や発癌について概説し、特に女子に関心の高い子宮頸がんワクチンは接種を受けるべきか、の判断を自ら適切に下せるための客観的な知識を講義する。また接種を受けたい場合の、市等の公的助成(補助金)についても説明する。

■ 受講人数の目安: 40人

■ 所要時間の目安: 60分

■ 高校でご準備いただきたいもの: プロジェクター、スクリーン(PCは持参)